

学校名 富士見小学校	学年 1 学年
授業者氏名 沼田 祐里奈	
題材名 保育園の子どもたちに歯にいいことを伝えに行こう。(生活科)	
主 眼 歯について書かれた絵本からクイズを作ったり、歯科衛生士さんのお話から歯についてのいいことを聞き「はごろく」を作った子どもたちが、実際に保育園へ行き、年長さんに向けてクイズを出したり、一緒に「はごろく」に取り組むことを通して、どのように伝えたら歯にいいことを伝えられるかを考えることができる。	
学習材 ・ 絵本を基に考えたクイズ 3 問 ・ 絵本やお話を基に考えた「はごろく」	
成 果 ・ 保育園交流までの練習の中で、「このくらいの言い方だったら分かりやすいかな」等、相手意識を持ち考える姿があった。 ・ パタカラ体操では、普段何気なくやっている体操にどんないいことがあるのか調べて伝える学習の中で、パタカラ体操のよさを再確認することができた。 ・ 「はごろく（歯についてのすごろく）」では、マスが進んだ後必ず読み上げ、保育園の子に伝えることをすることで、楽しいすごろくにとどまらず、歯のことを伝える活動として楽しむ姿があった。	
   	
課 題 ・ 「はごろく」では、読み上げることをせずに、次に進めてしまう 1 年生の姿があったので、めあてをよく確認して「歯にいいことを伝える」ということに重きを置いていきたい。 ・ 生活科の面で「仲良くなろう」というめあても持っていたため、こおりおに等の遊びも取り組んだ。歯について伝えていく意欲を高めるには、保育園や老人ホーム等繰り返し出向いていくとよいと思った。	

【授業実践振り返りカード】 12月

学校名 富士見小学校	学年 2 学年
授業者氏名 長田 文彰	
題材名 「歯っぴーチャレンジ週間」にしっかり取り組もう (学級の時間)	
主 眼 歯みがきのやり方や食材によって歯垢が付きやすくなることを学習した子どもたちが、春と秋の歯科健診の結果を受けて、自分自身の歯みがきに再度着目し、毎日ふり返ること(チェックシート)を通して、自分自身の歯みがきをよりよくするために、ブラッシングの仕方を意識的に行うことができる。	
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) ・ 毎日のふり返り(歯っぴーチャレンジシート) ・ 春と秋の歯科健診の結果	
成 果 ・ 春と秋の比較により、自分の歯みがきが悪くなってしまっていた児童は、自分の歯みがきがいい加減になっていたことに気づくきっかけとなり、歯みがきをしっかりとやろうという意欲につながっていた。特にピンクだった部分のブラッシングを意識していた。 ・ チェックシートが色塗りだったため、好んで取り組める児童が多かった。また、「できた or できなかった」が可視化されたため、「次はやらないと！」という歯みがきをよりよくしていこうとする意欲的な発言があった。 ・ 保護者のコメント欄があったため、家にチェックシートを持ち帰り、保護者の歯に対する意識向上にもつながった。 ・ 日頃の歯みがきは、無意識で取り組んでいたり、朝晩と家での歯みがきを怠っていたりして子どもが今回のシートで意識して取り組むことができている。	
課 題 ・ そもそも、歯みがきに意識がいきにくい児童は、チェックシートをなくしたり、色塗りを行わなかったり、呼びかけにも応じられない場合がある。個人差があり、普段からの生活力に影響されていると思われる。 ・ 全体的には意欲的な児童が多かったため、学期に1度のペースで、チェックシートに取り組んでもよさそう。	

【授業実践振り返りカード】12月

学校名 富士見小学校	3学年
授業者氏名 丸山 晃輝	
題材名 「 春と秋の歯垢を比べて歯みがきを見直そう 」	
主 眼 前々回の保健指導で歯みがきのやり方や食べ物によって歯垢が付きやすくなることを学習した子どもたちが、春と秋の歯科健診の結果から、意識的に自分の歯みがきのやり方を工夫したり、食べ物を気にするなどの視点を高めることができる。	
学習材 ・春と秋の歯科健診の結果 ・歯っぴーチャレンジシート	
成 果 ・日頃の歯みがきは、無意識で取り組んでいたりと、朝晩と家での歯みがきを怠っていたりして子どもが今回のシートで意識して取り組むことができている。 ・保護者からのコメントで、自分の頑張りたい磨き方を説明して取り組んでくれたり、いつもは使わない歯間ブラシを使って歯みがきをしていたりと意識が変化したとコメントがあった。 ・子どもたちからも「めっちゃ意識して歯みがきやった」や「いつも短いけど15分くらい歯みがきをした」など意識的に歯みがきを行う機会となった。	
課 題 ・歯垢が減ったかがわからない。来年の歯科健診の結果まで待つことになる。 ・シートを配って意識を変えて取り組んでいる子もいるが、歯に対して全く興味がない子は全くやっていない。	

【授業実践振り返りカード】 12月

学校名 富士見小学校	学年 4 学年
授業者氏名 高橋 準	
題材名 「歯っぴーチャレンジ週間」(学級の時間)	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ(or 体験した・調査した)子どもたちが(既習や経験)、○○に着目し(健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して(本時の中核的な学習活動)、○○する力(育成する資質・能力)を培うことができる。	
主 眼 「歯と口の大切さを富士見小学校や富士見町に発信したい!」と願い、学習を重ねてきた子どもたちが、自分自身の歯みがきに再度着目し、毎日ふり返ること(チェックシート)を通して、自分自身の歯みがきをよりよくしていくことができる。	
学習材 (本時、子どもに提供する最大の情報:実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等) ・毎日のふり返り(チェックシートで可視化)	
成 果 チェックシートで「できた or できなかった」が可視化されたため、「できなかった児童」から「明日の昼はやらないと!」という歯みがきをよりよくしていこうとする意欲的な発言があった。 また、終末にはお家にチェックシートを持ち帰り、保護者にコメントを記入してもらったことで、保護者の歯に対する意識向上にもつながったと考える。	
課 題 持ち帰った後のチェックシートの提出状況がよくなかった(週明け)。保護者への周知をもっとする必要があった。また、1 回だけの実践にとどめることなく、学期ごとに1回、1 か月に1 回(家庭読書の日のように)など、機会を増やしてもよさそう。	

【授業実践振り返りカード】 12月

学校名 富士見小	学年 5 学年
授業者氏名 赤堀 万里子	
題材名 「自分の歯みがきを見直そう」	
主 眼<フォーマット> 〇〇について学んだ（or 体験した・調査した）子どもたちが（既習や経験）、〇〇に着目し（健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方）、〇〇することを通して（本時の中核的な学習活動）、〇〇する力（育成する資質・能力）を培うことができる。	
主 眼 むし歯の原因になるのが歯垢であるということや歯周病について学んできた子どもたちが、春と秋の歯科健診での自分の歯についている歯垢について注目し、歯垢が及ぼす歯への影響や歯垢を取り除くブラッシングや歯間ブラシの利用について動画を見て自分の歯みがきについて考えることを通して、効果的な歯みがきを行えるようにする。	
学習材 （本時、子どもに提供する最大の情報：実践家や専門家の話の要点・KYT のイラスト等） ○春と秋の歯科健診での歯垢のつき方を比べた学習カード ○歯垢と歯周病についての動画と効果的な歯みがきの動画（日本歯科医師会のサイト）	
成 果 ○自分の歯みがきが悪くなってしまっていた児童は、表を見たことにより自分の歯みがきがいい加減になっていたことに気づくことができ、気を付けようという気持ちになっていた。 ○歯垢が歯周病の原因になることや、それを防ぐための方法を動画で知ったことにより、自分ができそうな予防歯みがきを考えることができた。フロスは家での歯みがきで使いたいと考えている児童がいた。	
課 題 ○振り返りカードの利用や日ごろの歯みがきを丁寧に行えない児童がいる。	

【授業実践振り返りカード】12月

学校名 富士見小学校	6 学年
授業者氏名 大道 健人	
題材名 「 よい食べ方を習慣化しよう 」	
主 眼<フォーマット> ○○について学んだ (or 体験した・調査した) 子どもたちが (既習や経験)、○○に着目し (健康教育や食育との教科等横断的な学習に係わる見方・考え方)、○○することを通して (本時の中核的な学習活動)、○○する力 (育成する資質・能力) を培うことができる。	
主 眼 バイトスキャンを用いて、噛みやすい献立とよく噛む献立の 2 食分の噛む回数や姿勢を計測した結果から自分の噛む回数や食べるときの姿勢等について自分なりの目標を設定した子どもたちが、噛むことや姿勢を意識した食べ方が健康維持に影響することに着目し、4 週間にわたり、自分の目標が達成できているかを振り返ることを通して、自分の噛む回数や食べる姿勢等の改善を継続的に行って習慣化しようとする態度を育てる。	
学習材 ・ 裕野先生からの分析データ ・ 4 週間の食べ方チェックシート	
成 果 ・ 前半 2 回のバイトスキャンの結果から、決して思い込みではなくデータをもとにした自己課題が見つかったことで、自分に合った目標設定ができた。 ・ 4 週間の取組状況をみると、多くの子どもが食べる回数を増やしたり、姿勢を良くして食べたりして意識的に取り組んでいる様子がみられた。	
課 題 ・ 個人差があり、意識して食べられない子どももいる。 ・ 昼の放送にかかわる仕事をする子どもは、食事の時間が十分に確保できずに、どうしても急いで食べることがある。給食の準備を早く行うなど、クラスで協力して時間を生み出す工夫を考えていきたい。	